

最近の子どもの虫歯事情

小児歯科は歯科の一分野であり、永久歯列が完成する14〜15歳までの子供の歯科疾患を対象とし、健全な永久歯列の獲得を目的としております。日本では、子供の虫歯の増加が社会問題となり始めた昭和31年、歯科大学に初めて小児歯科学講座が開設されました。その後、昭和30年〜40年代の「虫歯の洪水」の時代を経て、現在では、日本歯科医師会の「8020（ハチマルニイマル）運動」などの虫歯予防啓発や、国民の口腔衛生意識の高まりによって、先進国の中でも子供の虫歯の少なさは、トップレベルを誇るまでになりました。

その一方で、近年、未治療の虫歯が10本以上ある「口腔崩壊」に陥っている子供の存在がテレビや新聞で取りあげられ、注目されております。中学校に入学する頃には、乳歯はほぼ永久歯に生え変わってしまうのですが、「口腔崩壊」に陥ってしまうような口腔環境にさらされた永久歯は、早期に重篤な虫歯になってしまいます。

多数歯の歯科治療を受けるのは、経済的負担、時間的負担のみならず大きな精神的負担を伴います。しかし、全身麻酔下で行う一括多数歯治療の場合は、時間的負担、精神的負担を大幅に削減できるメリットがあります。治療時の痛みや不快な記憶も残りません。治療内容に、向き不向きはありますが、近年その件数は増加しております。口腔衛生指導は治療後に行います。費用は通常の歯科治療より高額になりますが、子供の場合、市町村による医療費の補助を受けられる場合があるので、確認してください。



函館中央病院
歯科口腔外科

阿部 真之介 医長

略歴

平成9年、北海道医療大学歯学部卒業後、明海大学歯学部大学院小児歯科学に入学。明海大学病院小児歯科勤務を経て、平成15年、函館中央病院歯科口腔外科医長に就任。日本小児歯科学会専門医。



函館中央病院 函館市本町33-2 ☎0138-52-1231(代) <http://www.chubyou.com/>

- 診療科目／内科、消化器内科、腫瘍内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科
心臓血管外科、皮膚科、産婦人科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科など全24科目
- 受付時間／8:30〜11:30、13:30〜16:00 ※土曜は午前のみ。診療科や時間帯によっては要予約。
- 休診日／日曜・祝日・年末年始